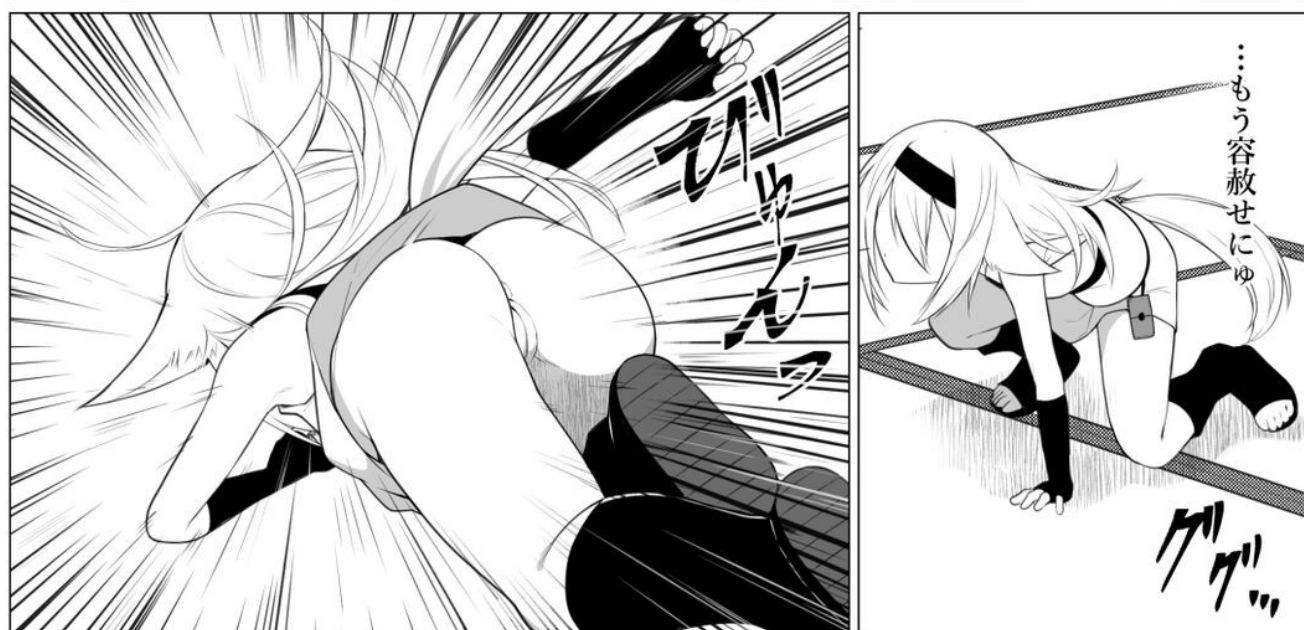




人に見えない妖怪ならナニしても合法!?!5

すれも





蹴り続け追加速しゆれば
瞬時に――

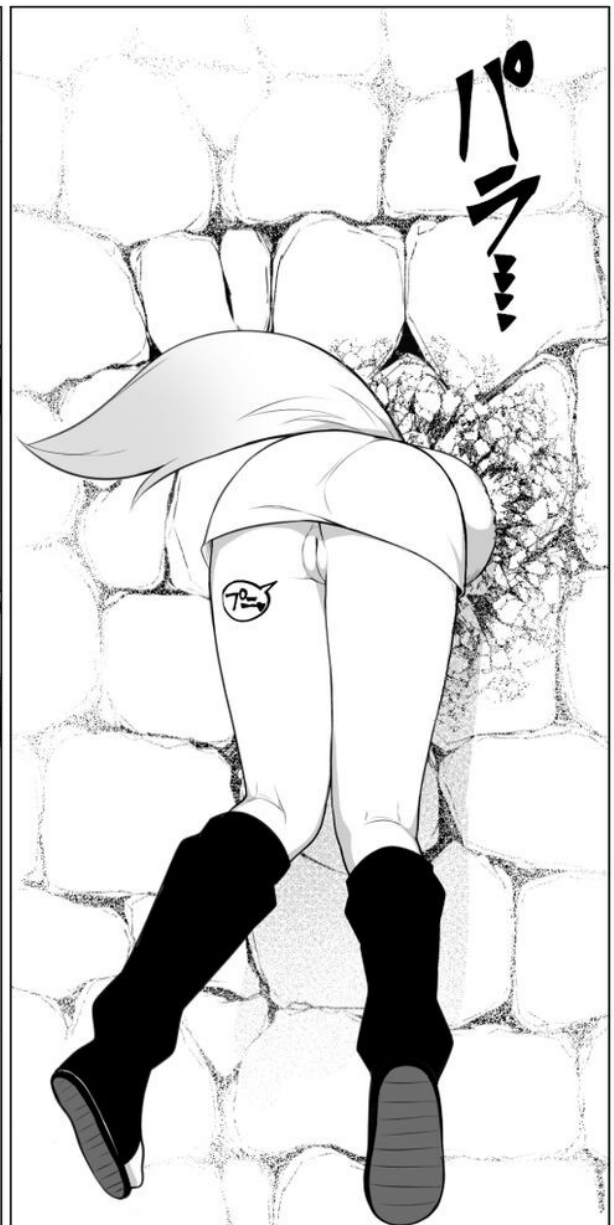
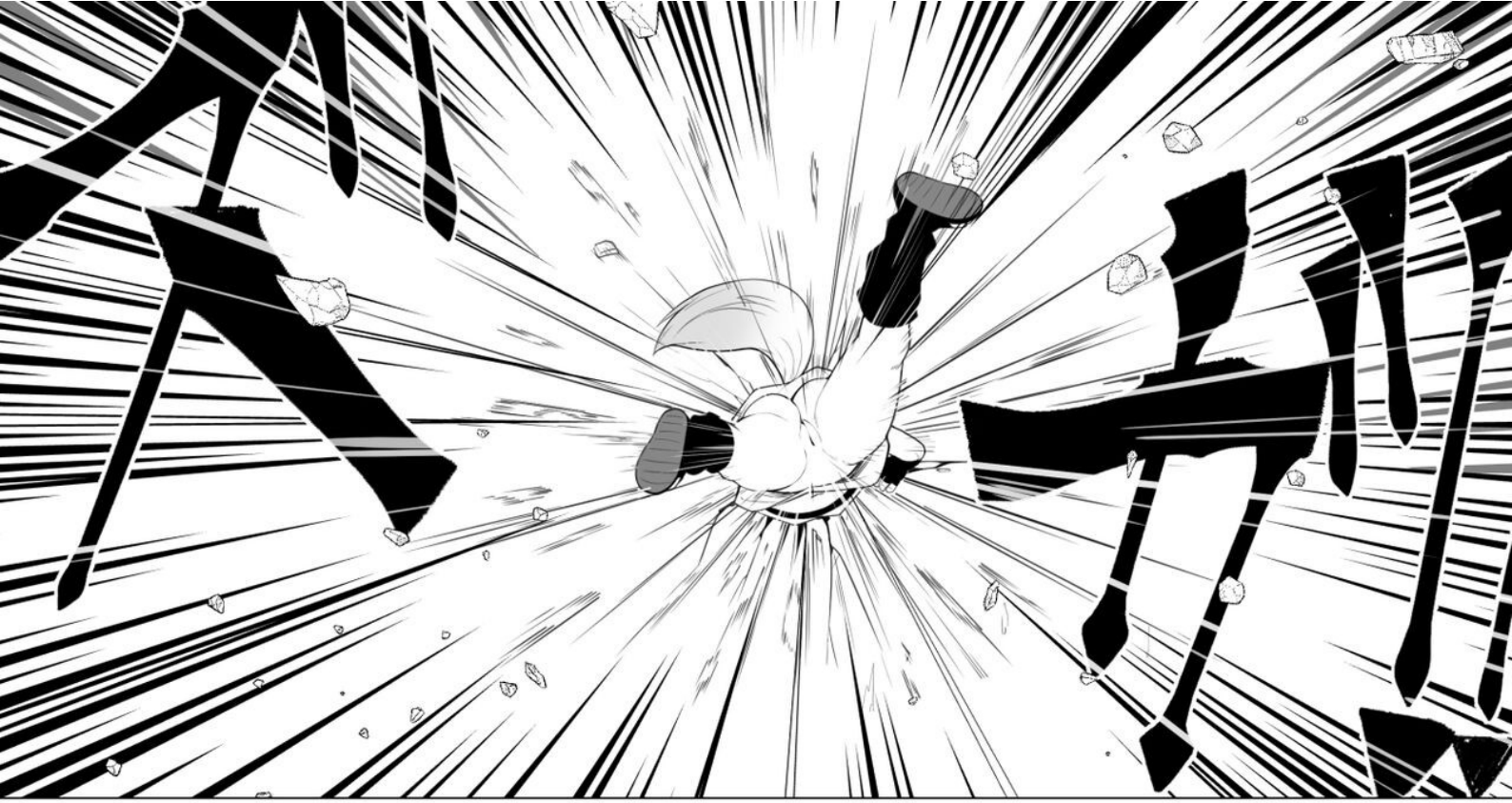
音速を超えりゆ!!

手を妖力で硬化――
速度も合わしやり

岩も砕く豪槍と化しゆ

打撃が効かにゆなら

ちゆう
貫にゆく!!

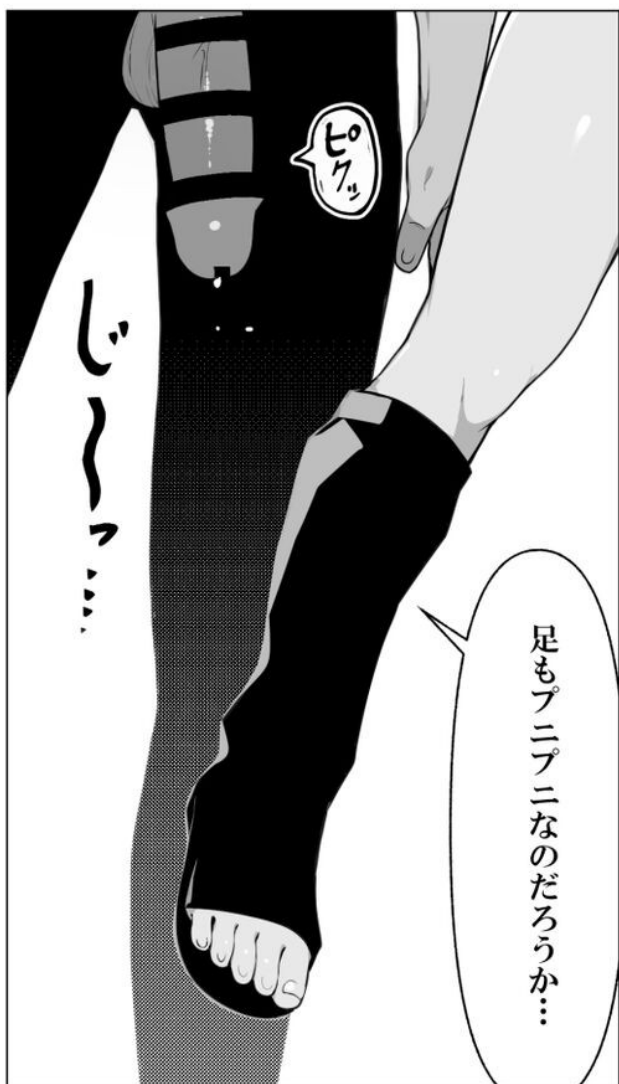




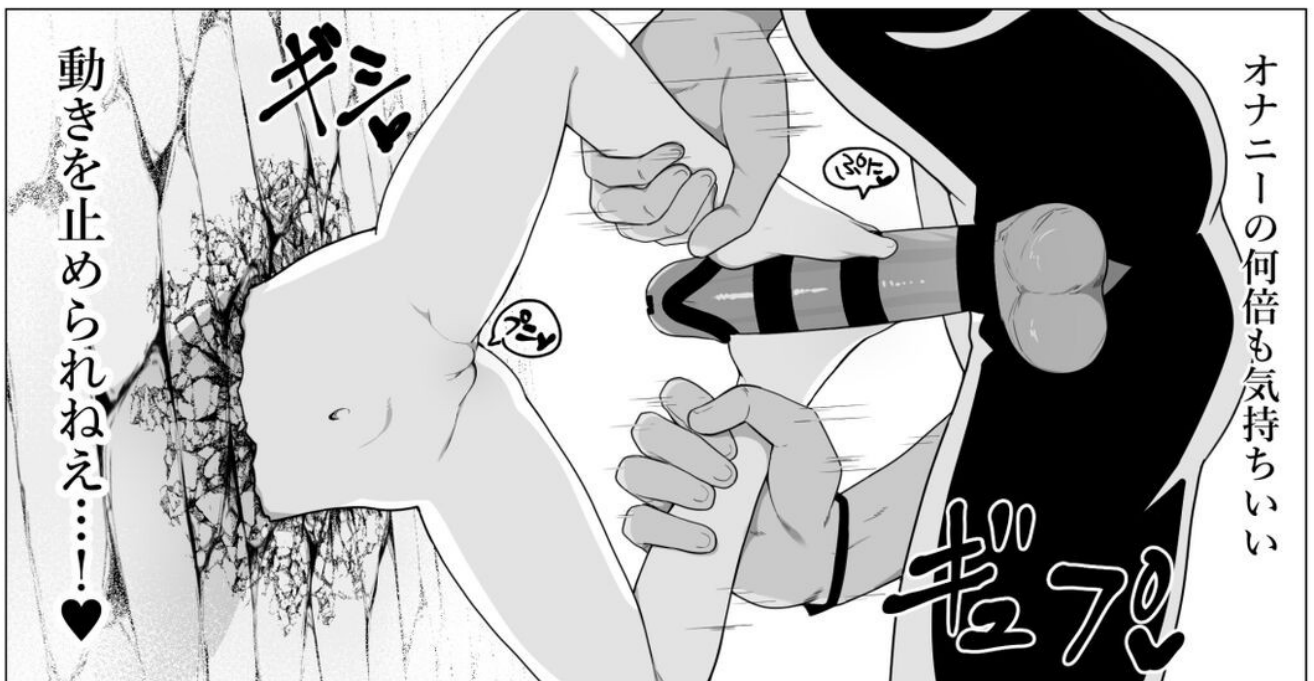


















なぜか妖怪の顔は皆
異様に可愛い

SNSで画像加工された美少女
がリアルにいるような
二次元という感じの顔つきだ



調子に乗るなよ

お前など力が
戻りえば一捻りで…



!?

和

バキ

ビキッ

何でポコチン丸出し
にしてりゅ...？

どうでもいいがこんな
デカきやかつたっけ

くっしや！
んなもん
寄せりゆな！

おあっ

※犬鼻

がし

び

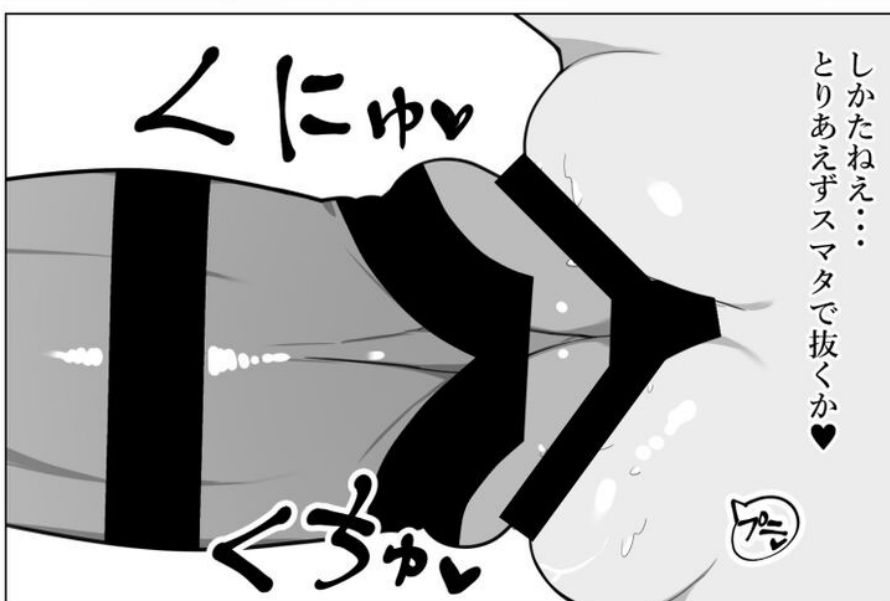
おっ























…やれやれ
狢犬にまで…



スタ…

ε



意識がある…

今のは
猛獣でも死ぬ殴打の
ハズだったが…



ぐた

おが



しかし、ある日1匹の妖狐が天狐に「格上がり」した

本来妖怪は同士討ちをしないが、
天狐は妖怪を喰らい始めた。抵抗するも天狐の力は
圧倒的で誰にも止められなかった

数日後、玉藻前様が禁器である八咫鏡の使用を決断
八咫鏡は妖怪の生命の力を蓄えることができる。
ぬらりひょん様、玉藻前様等大妖怪を中心に
当時力の弱かったワシら子妖怪を残し
皆、八咫鏡に消えていった



玉藻前様が膨大な量の
力を溜めた八咫鏡を使い
天狐を討伐に成功した
...



天狐の源である「因子」だけは
残ってしまった。今も尚どこかに漂う
「因子」が妖狐に触れたら

再び天狐に格上がりし、
今度こそ天狐に地球は支配されるであろう。



ワシは八咫鏡の鏡に力を全て使い、
瀕死の玉藻前様に
妖狐族を皆殺すよう使命を授かった。



じゃがワシがへまをしたせいで
最後の子妖狐を逃してしまった。
300年追い続けやっとその妖狐が
この街にいと特定でき今に至る。

とにかく妖狐を見つけたら報告を頼む
貴様も人類のためにもな

あまりにも現実離れた話で
何も実感がわかねえ
妖狐の存在が全てを滅ぼす…？

とりあえずこの話は
妖狐にしないでおくか…

スワ...

スワ...

ス...

…久々だな、悪いが
今はお前と遊ぶ気分じゃねえんだ…

猫又

ふわっ

ふん、とぼけなくても
いいわ



あとかき

おまたせしました！すれもです！前回は9月頃の発売だったので
一年近く経ってしまいました…おかげさまで妖怪合法シリーズも
5冊目で折り返しまで来ております。

今回は壁尻とできるだけ小さいロリに挑戦してみました。
足要素もたっぷり詰め込んでみました～
狛犬はこれ以上小さいと抜けないギリまで頑張ったので
楽しんでいただけたら幸いです。

どんどんストーリーもラストに向けて進んで
おりますのでよろしければ最後までお付き合いください～
次回はもっと早く出せるよう頑張りますので
よろしくお願いいたします！

すれも